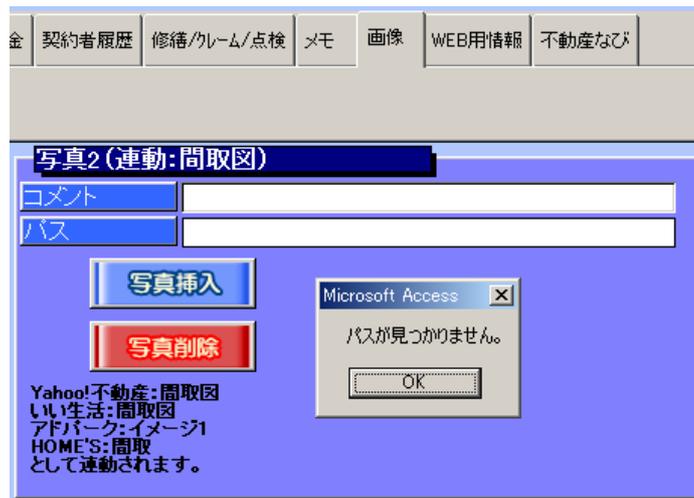


正しい画像登録フォルダの設定方法(画像登録時のエラー対策)

画像の登録を試みると、次のように「パスが見つかりません。」と表示され、登録ができないことがあります。



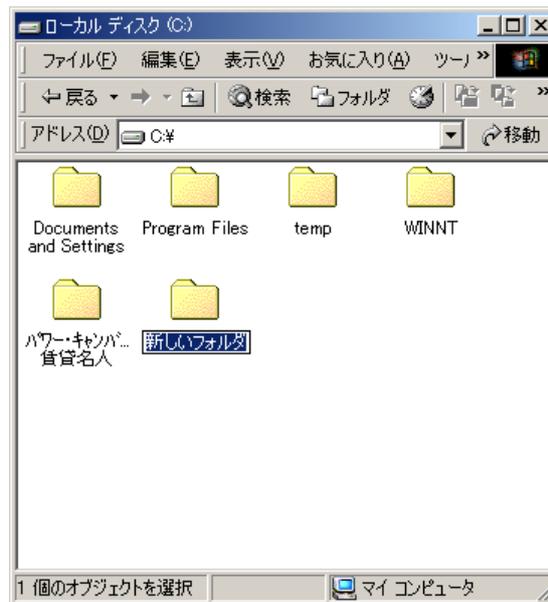
これは、画像の保存先である「画像パス」が未設定か、または登録内容に不備があるため、ソフトが画像ファイルを保存できないことが原因です。この現象は「画像パス」を正しく設定することで解消します。「画像パス」はマスターデータ登録画面から設定します。



画像パスには、賃貸名人に登録された画像が自動的にストックされるフォルダを指定します。お客様が普段（デジカメ等の）画像を保存しているフォルダを指定する必要はありません。

フォルダの場所は任意ですが、ここでは例として[ローカルディスク(C)]に[Photo]というフォルダを作成し、これを「画像パス」に指定します。

まず、Cドライブの直下にフォルダを作成します。



フォルダ名を「Photo」と設定します。



次に、賃貸名人のマスターデータ登録画面にて、画像パスに作成した [Photo] フォルダを登録します。パス欄に直接フルパスを入力するか、または [参照] ボタンから選択・登録してください。

以上で設定は完了です。画像の登録が正常にできるかご確認ください。

< 拡大表示 >

また、ネットワーク型で賃貸名人をご利用の場合は、クライアント（子機）からネットワーク経由で [Photo] フォルダを指定する必要があります。

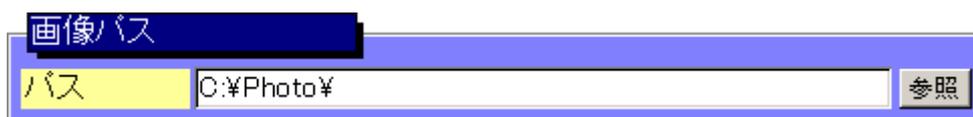
まず、サーバ（親機）で作成した画像フォルダを共有してください。



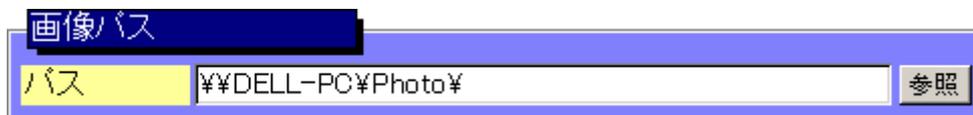
サーバ（親機）は、前ページのように「C:¥Photo¥」を設定します。

クライアント（子機）からは「¥¥[サーバのコンピュータ名]¥photo¥」と設定します。

< 拡大表示 - (サーバ) マスターデータ登録画面 >



< 拡大表示 - (クライアント) マスターデータ登録画面 >



クライアントではこのように設定します。

これで、サーバ機（ここでは DELL-PC）の [Photo] フォルダにクライアントから登録した画像もストックされるため、全てのパソコンで賃貸名人の画像情報を共有することができます。